

## 利用者教育のデザイン – 目次

利用者とは誰か？

資料はどう作るべきか？

講習会をデザインする



**(私の)データベースのストーリー**

**データベースの経験**

- データベースが役に立ったという経験

**私が受け取ったバトン**

- 検索クエリー、出力形式、シソーラスなどなどの長いトレーニング

**時代の変遷**

- 常にライブラリーは情報産業の技術革新の影響を受ける

Web of Science  
*Trust the difference*

Clarivate Analytics

利用者とは誰か？



## 利用者とは誰か？

### 利用者とは誰か？

- 新入生？学部生？院生？研究者？分析担当者？

### 知ってほしいこととは何か？

- 知って欲しいことは、利用者がすぐに思いつくことでは無いかもしれません。

### 利用者が理解するまで

- 利用者が理解する際には、頭き、笑い、質問などいろいろなサインがあります。

Web of Science  
Trust the difference

Clarivate Analytics

## どの分野に利用者がいるのか？ 学部別

### 2009年のWeb of Scienceの講習会参加者

学部	名前は知っている	全く知らないかった	数回使ったことがある	よく使っている
理系	10%	80%	10%	0%
工系	10%	80%	10%	0%
農林水産	10%	80%	10%	0%
経済	10%	80%	10%	0%
法政	10%	80%	10%	0%
文系	10%	80%	10%	0%
教育	10%	80%	10%	0%
医療	10%	80%	10%	0%

Web of Science  
Trust the difference

Clarivate Analytics

## どの分野に、利用者がいるのか？ データベース別

### 2009年のWeb of Scienceの講習会参加者が普段使っているデータベース (2017年は、どのように変わっているでしょうか？)

データベース	割合
PubMed	41%
Web of Science	35%
CIIHI	3%
SciFinder	2%
ScienceDirect	2%
Google Scholar	2%
iDream	1%
Proquest	1%
SCOPUS	1%
Google	1%
医学中央雑誌	1%
IEEE Electronic Library	1%

Web of Science  
Trust the difference

Clarivate Analytics

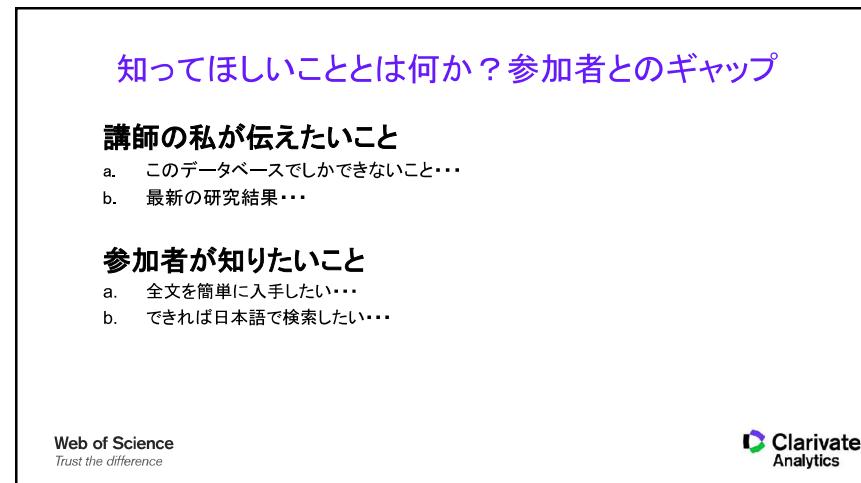
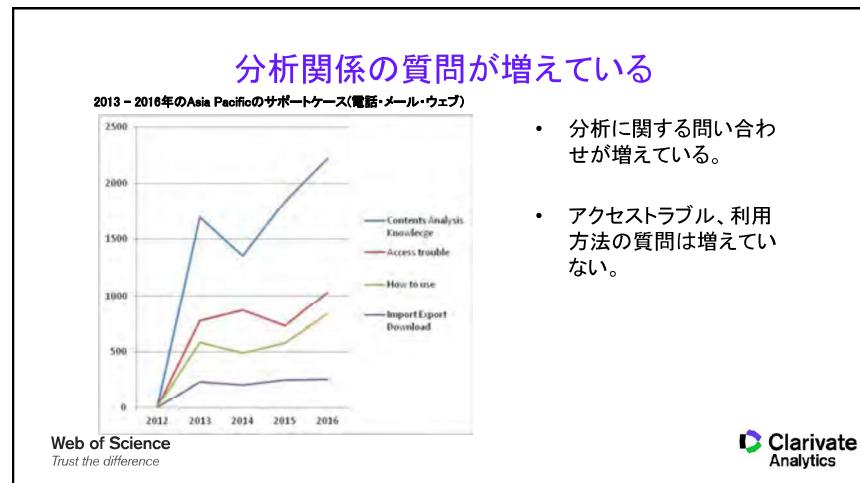
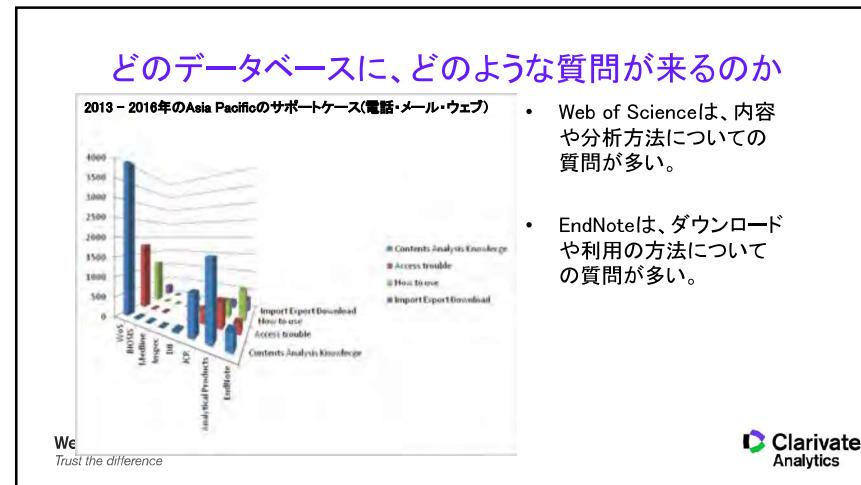
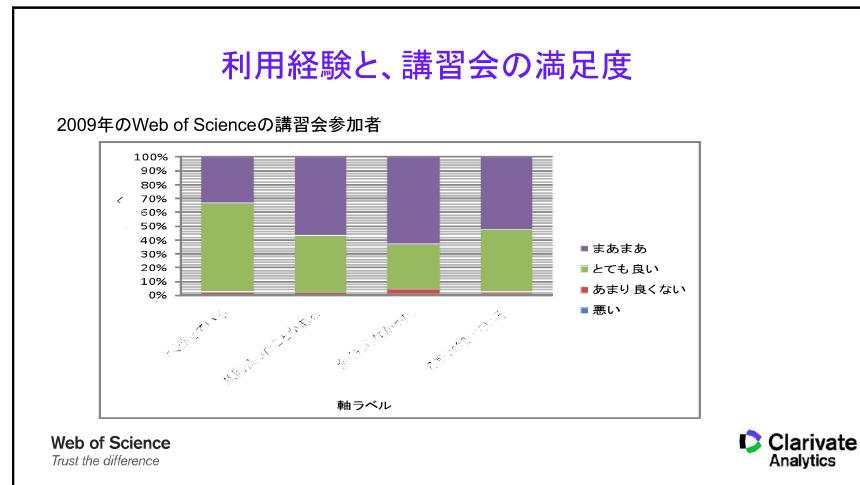
## 利用者とは誰か？ 学部生？院生？研究者？

### 2009年のWeb of Scienceの講習会参加者の内訳

機関	その他	学部生	研究者	図書館員	大学院生
国立大学	50	228	163	55	427
私立大学	7	221	26	33	187
政府機関	24	49	49	21	
公立大学	2	3	3	3	1

Web of Science  
Trust the difference

Clarivate Analytics



## 知ってほしいことは何か？ ギャップを埋める

### 参加者の反応を見て>講師の私が伝えたいこと

- a. Googleと学術データベースの違い…
- b. フルテキストと文献検索ツールの違い…

### 講師の反応を見て> 参加者が知りたいこと

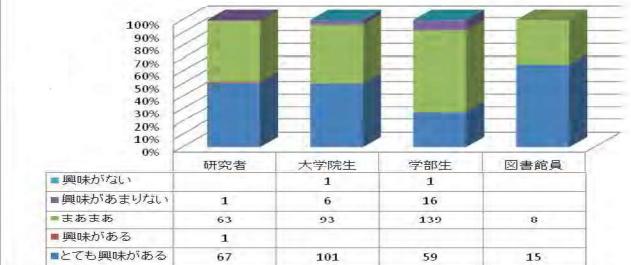
- a. 大学の中で使える他のデータベースは？…
- b. 英語が苦手なのだけれども…

Web of Science  
Trust the difference

Clarivate  
Analytics

## 利用者が理解するまで：興味を増す

### 興味を持てる内容でしたか？

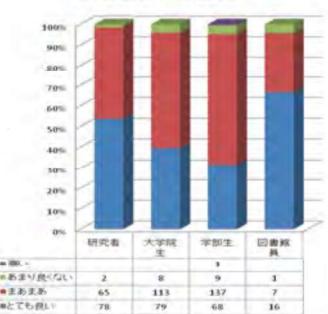


Web of Science  
Trust the difference

Clarivate  
Analytics

## 利用者が理解するまで:満足度を上げる

### 講習会全体の評価



Web of  
Science  
Trust the difference

Clarivate  
Analytics

## 利用者が理解するまで: 理解度は変わらない

### 分かりやすさ



Web of Science  
Trust the difference

Clarivate  
Analytics

## 資料はどう作る？

Web of Science  
Trust the difference



## 資料はどう作るべきか？

### 講習会で使う資料の種類

- 1) 簡易マニュアル(2ページから4ページ)
- 2) 詳細マニュアル(25ページ以上)

初心者用の資料？上級者用の資料？

Web of Science  
Trust the difference



## 過去の失敗：翻訳調の24ページマニュアル

Web  
Trust the difference



## 改定版：グラフィックを多く4ページに凝縮

Web of Science  
Trust the difference



## 資料はどうつくるべきか？その他

### 講習会の構成

自分の説明と講習会の構成⇒製品の概要⇒デモ⇒質疑応答

### フェイスツーフェイス

目の前に参加者がいるのに、講師が資料を読むだけでは意味がない。

### 資料の重要性

- ・時間をかけてパワーポイントで作成すると完成度も高まり、講習会の進行で失敗しないが、、、デモが主体の講習会では、それほど資料は重要ではない。

## 物語かマニュアルか？

### ディスクリプションと物語の違い

このコップは、直径15センチで、重さは、200グラムあります。使い方は、30度以上の熱いお湯を入れてはいけません。



このコップは、私の小樽の後輩がくれたもので、これで暑い夏に冷たい麦茶を飲むととてもおいしいです。

Web of Science  
Trust the difference

Clarivate  
Analytics

## 物語かマニュアルか？

この表は、12000タイトルのジャーナルが、あるテーマについて論文が毎年どれぐら書かれている、引用回数の累計が1600回であることを示しています。



この表は、高血圧の薬が、糖尿病にも効くことが分かった時のグラフです。左は論文数で2003年に論文が急増しました。このとき正しく、新たな発見があったわけです。

Clarivate  
Analytics

## 注意すべきこと

### 資料はどうつくるべきか？

- ・講習会において、資料は無いと困りますが、ボリュームのある資料は不要です。
- ・いかに利用者とコミュニケーションをしていることを重点において、内容をいかに伝えるかに力を入れます。
- ・参考のための詳細資料は、講習会とは別に必要になってくる場合があります。

### 物語かマニュアルか？

- ・使える機能をABC順に全て順番に説明する方式と、全部は話せないけれども、流れとして、一例を物語で説明する方式があります。
- ・昔は、全部系統立て話すのが良いとされていましたが、今は違います。
- ・そのデータベースが何故使いやすいかは、講師の経験を重視すべきです。

Web of Science  
Trust the difference

Clarivate  
Analytics

## 講習会をデザイン

Web of Science  
Trust the difference



## 講習会をデザイン

講習会のタイトルとコンテンツ

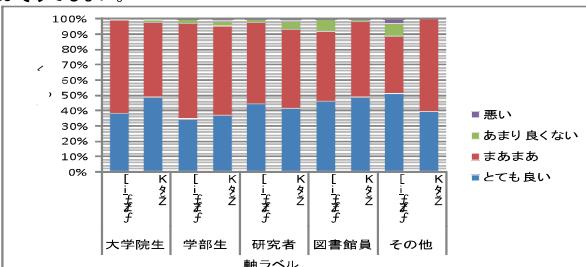
講習会のスタイル:セミナー形式?実習形式?

Web of Science  
Trust the difference



## 講習会のスタイル:セミナー形式?実習形式?

実習を好むかどうかは、参加者によっても違います。学生は、セミナーを好むが、研究者はそうでもない。



Web of Science  
Trust the difference



## デザインは無限大(様々な工夫)

### 話のフックの掛け方

- 講習会の参加者がどれだけ話に引き込まれるかは重要です。

### 研究者に語ってもらう講習会

- ライブラリアンは情報の専門家ですが、研究内容には詳しくありません。

### 失敗の共有

- この説明をする前に、沢山失敗の検索をしているはずです。

Web of Science  
Trust the difference





Optional Presenter's Name, Presenter's Title | Presenter's Phone number | Email.address@clarivate.com | [clarivate.com](http://clarivate.com)